

2017年10月17日
株式会社スプレッド

スプレッドがグローバル展開を始動 UAEをはじめとした中東地域に 植物工場『Techno Farm™』の建設を計画

株式会社スプレッド（本社：京都市、代表取締役社長：稲田 信二、以下「スプレッド」）は、植物工場事業のグローバル展開を始動します。Madar Farms 社（本社：アラブ首長国連邦、代表：Abdulaziz K. Almulla、以下「Madar Farms」）と、東洋エンジニアリング株式会社（本社：千葉県習志野市、取締役社長：中尾 清、以下「東洋エンジニアリング」）それぞれとのパートナーシップのもと、アラブ首長国連邦（以下「UAE」）をはじめとした中東地域での『Techno Farm™』の建設を計画しています。

中東地域の多くの国々では、土地のほとんどを砂漠地帯が占めていることや水資源の不足などの地理的理由などにより野菜の生産が難しく、その供給を輸入に頼る傾向にあります。一方で人口の増加や、食文化の変化に伴い、野菜の需要は増加しています。

このような課題に対しスプレッドは、10年にわたる植物工場の運営ノウハウと、技術革新によって生み出した次世代型農業生産システム『Techno Farm™』の自動化栽培や水のリサイクル技術などを通じて、独自のソリューションを提供します。

スプレッドは、コンテナ式植物工場事業の実績がある Madar Farms と、2017年10月に中東地域での『Techno Farm™』の共同事業展開に関わる戦略的なパートナーシップの覚書を締結。そしてグローバルなプラント建設の豊富なノウハウを持つ東洋エンジニアリングとは、2017年6月に海外における『Techno Farm™』のエンジニアリングサービスに関する覚書を締結しました。このパートナーシップにより、中東地域における安全で高品質な野菜の安定供給を目指します。2018年にUAEで日産3万株以上の生産力を持つ植物工場『Techno Farm™』の建設を開始し、2019年の竣工を予定。将来的には、中東地域で約20拠点の建設を計画しています。

スプレッドは、持続可能な農業の実現に向けて、各分野と連携と協力を深め、今後もさらなる技術革新に挑戦し続けてまいります。

News Release

◆Madar Farms 社について

UAE を拠点に、中東地域における食料や水不足の課題を、先端技術による農業のイノベーションを通じて解決する事業活動を展開。CEO の Abdulaziz K. Almulla 氏が、Al Mulla Group 会長の Najeeb A. Almulla 氏と共同で創業。両氏ともに、クウェートを拠点に世界 8 カ国で 40 以上のグループ企業を有し、自動車、金融、エンジニアリング等の事業を展開する財閥企業 Al Mulla Group の創業家の一員。



◆東洋エンジニアリング株式会社について

1961 年創業。世界約 60 カ国で、ハイドロカーボン分野、インフラ分野、産業プラント分野など多岐に渡る分野でのプラントエンジニアリング事業を手掛ける。



◆『Techno Farm™』について

Techno Farm™

『Techno Farm™』は、天候に左右されることなく安定的な生産が可能である従来の植物工場に、スプレッド独自のイノベーションを融合して生まれた、次世代型農業システムです。自動化栽培や水のリサイクル技術、環境制御技術、植物工場専用LED 照明、IoT・AI 技術などのイノベーションを、国内の設備技術メーカーと共同で開発。オペレーションコストの削減と環境負荷の軽減に成功しました。

URL : www.technofarm.com

【本リリースに関する問い合わせ】

株式会社スプレッド 広報部 岡井／安藤

E-mail : info@spread.co.jp

TEL : 050-3852-0561 (直通) 075-326-3850 (代表)

URL : www.spread.co.jp